

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

滋賀県、大津市、草津市

2 構造改革特別区域の名称

琵琶湖南部エリア大学発新産業創出特別区域

3 構造改革特別区域の範囲

大津市瀬田地区及び草津市野路地区（滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学を中心とする地域）

4 構造改革特別区域の特性

（1）自然的、経済的、社会的諸条件

当該区域は滋賀県南部に位置し、琵琶湖南岸に広がる平地とその背後の丘陵地から成っている。

当該区域では「びわこ文化公園都市」の整備が進められ、滋賀医科大学、龍谷大学（瀬田学舎）立命館大学（BKC、びわこ・くさつキャンパス）、京都大学生態学研究センター等の大学・研究所が立地しているほか、滋賀県立近代美術館、滋賀県立図書館、滋賀県立埋蔵物文化センター等の文化施設や、日赤血液センター、県立長寿社会福祉センター等の福祉施設が集積し、文化ゾーン・福祉ゾーンを形成している。

また当該区域は、名神高速道路、新幹線等の高速交通機関や、国道1号、京滋バイパス、JR東海道本線等の交通機関の利用の便が非常に高いほか、第二名神自動車道路、名神高速道路との連絡道およびインターチェンジの整備が進められているなど、主要幹線交通網に恵まれた交通の結節点にある。

当該区域から1時間以内の区域（以下「周辺区域」と云う）は、大都市の京都、大阪に近接しているほか、本州のほぼ中央に位置しているという立地条件に恵まれていることから、交通の発達も相まって早くから工業立地が進展し、高度経済成長期には大企業の工場や研究所の進出が相次ぎ、地元企業はその関連企業として発展するなど、滋賀県の基盤的技術産業の約50%が集積し、工場・研究所群を有する関西有数の内陸工業地帯として発展してきた地域である。

また、滋賀県の人口は5年間（平成7～12年、国勢調査による）で4.3%の増加と、全国第1位の伸びであるが、当該区域及び周辺区域は、滋賀県の中でもとりわけ人口増加が著しい地域である。

(2) 学術研究機能、産学連携機能の集積

当該区域には、わずか数 km の近接した圏内に滋賀医科大学（医学部）、龍谷大学（理工学部、社会学部、国際文化学部）、立命館大学（理工学部、経済学部、経営学部）が立地し、理工系学部と医学部だけで 1 万人以上の学生・教員等の人材が集積しており、新事業創出促進法に基づく高度研究機能集積地区の指定を受けている。なお、平成 16 年度には立命館大学に情報理工学部が開設され、集積が一層拡大される。

当該区域では、龍谷大学が平成 3 年に「龍谷エクステンションセンター（REC）」を開設、全国的に見ても最も早い時期にレンタルラボラトリーを開設した。立命館大学が平成 6 年のびわこ・くさつキャンパス開設当初から「リエゾンオフィス」を設置し、平成 8 年にはレンタルラボラトリーを設置、平成 16 年には地域振興整備公団によって立命館大学内にインキュベーション施設が整備される予定である。滋賀医科大学では平成 13 年に「産学連携推進室」を設置し、今後は「産学連携推進センター（仮称）」を開設する予定であるなど産学連携機能、インキュベート機能が集積している。

これら 3 大学では、次の研究施設や産学共同研究施設等を有しており、高度な学術研究活動を行っているほか、産学共同研究を推進している。

（大学）	（研究施設等）
滋賀医科大学	医学部附属実験実習機器センター
	分子神経科学研究センター
	動物生命科学研究センター
	放射性同位元素研究センター
	解剖センター
	マルチメディアセンター
	MR 医学総合研究センター
	生活習慣病予防センター
	医療福祉教育研究センター
龍谷大学	科学技術共同研究センター
	ハイテク・リサーチ・センター（HRC）
	古典籍デジタルアーカイブ研究センター
	国際社会文化研究所
立命館大学	総合理工学研究機構
	理工学研究所
	研究センター群
	ロボティクス・FA 研究センター
	材料・生産技術研究センター
	電子技術研究センター
	ソフトウェア研究センター
	環境総合研究センター
	建設マネジメント研究センター
	エコ・テクノロジー研究センター
	マイクロシステム技術研究センター
	スポーツ・健康産業研究センター
	SRセンター（シンクロトロン放射光施設）
	VLSIセンター（LSI設計支援施設）
	BKC社系研究機構として社会システム研究所、経営戦略研究センター、ファイナンス研究センターが設置されている。

5 構造改革特別区域計画の意義

滋賀県は大都市圏である近畿、中京に加え北陸の3経済圏に近接しているほか、本州のほぼ中央に位置しているという立地条件に恵まれていることから、交通の発達も相まって早くから工業の立地が進み、高度経済成長期には大企業の工場進出が相次ぎ、地元企業はその関連企業として発展するなど、大きな工業集積が形成された。このため、第二次産業が県内総生産に占める割合（49.9%）は全国で第1位となっている。（内閣府「県民経済所得年報」平成14年版による）

また、県内総生産の伸びに対する増加寄与率は、第二次産業が1/2近くを占め、中でも製造業は約42%と高い比率となっている。（昭和50年～平成11年）

このように、滋賀県の経済は第二次産業とりわけ製造業に大きく依存した構造となっているが、近年は、我が国製造業の海外移転等もあって、県外からの新たな立地は減少し、また、既存工業も我が国経済の低迷による影響を大きく受けて伸び悩んでいるため、滋賀県経済の活力が低下しているほか、雇用機会が減少するという問題が生じている。

滋賀県経済の活性化とそれによる雇用の増大は、かつてのような県外からの多数の企業導入は期待し難いことから、県内の既存企業による新事業展開や、ベンチャー企業の創出など内発的な産業展開に取り組むことが必要となっている。

滋賀県は当該区域において県立テクノファクトリー（貸工場）を整備するなど、新事業展開や新産業創出を促進するための産業支援を実施してきており、また、当該区域では、全国的にみて早い時期から産学連携に取り組んでいる龍谷大学、立命館大学が産学共同研究やインキュベート事業を積極的に推進して来たこと等から、当該区域および周辺区域を中心に、県内企業による新事業展開や新産業創出等が行われている。

当該区域において最先端の研究開発を一層促進し、その成果の起業化を促進していくには、大学における研究機能の拡大・強化、行政による産業支援等の施策の充実を図っていくほか、併せて、起業化に結びつく研究開発の成果を生み出すための人材の集積を一層促進していくことが重要である。そのような、研究開発に携わる人材については国内に限らず、広く海外からも招へいすることが必要である。

当該区域においては、これまでも外国人研究者によって大学発ベンチャー企業が創出されるなど、活発な取り組みが行われているが、今後もこうした潮流を拡大し、起業意欲の旺盛な外国人研究者が地域の新産業創出について先導的な役割を果たしていくことが強く期待されているところであり、海外の大学、研究機関等から優れた外国人研究者を招へいして、当該区域における研究活動や内外の研究者による研究交流を促進していくことが極めて重要であることから、「構造改革特別区域」として、海外の優秀な研究人材の確保につながる規制の特例措置を実施することが必要である。

6 構造改革特別区域計画の目標

滋賀県では、我が国の分権改革が新たな展開を迎え、中央が目標や方針を示し、それに沿って地方が具体的に動くというスタイルから、地域の有する固有の資源と特性を活かしながら、個性と存在感を競い合う時代に入っているという時代認識に立つとともに、産業空洞化に対する懸念を背景として、平成15年3月、中・長期的な観点から滋賀県産業振興の確かな戦略方向を示す「滋賀県産業振興新指針」(以下「新指針」という。)を策定し、「産業創造立県・しが」づくりを進めているところである。

新指針は、「産学官連携体制の構築と創造型・自律型産業構造への転換」を基本理念に据えて、地に着いた産業振興方策を力強く展開していくことを目指すとともに、「環境」「健康福祉」「観光」の「滋賀3K産業」と「バイオ」「IT」の5分野を重点産業分野と位置づけ、また「バイオテクノロジー」「IT」「ナノテクノロジー」を重点先端技術と位置づけ、戦略的な取り組みを行っているところである。

また、滋賀県、大津市、草津市では「琵琶湖南部エリア大学発新産業創出」をテーマとして平成14年8月に産学官で構成する研究会を組織し、平成15年5月には研究会を発展させて協議会を発足させ、「環境関連分野」「健康・福祉・医療・バイオ分野」「IT分野」「ナノテク分野」の4分野において、大学発新産業創出を促進しているところである。

琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進協議会のメンバーでもある滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学においては、上記の4分野について高いポテンシャルを有している。

これらの分野については、将来的に大きな市場が見込まれることから、国内の地域間競争のみならず、世界的規模で研究開発競争が激化しつつある。このため、構造改革特別区域としての規制緩和を活用して海外の優秀な研究者を招へいするなど研究人材の集積を促進し、当該区域における戦略分野の研究開発を促進することを目標とする。

また、構造改革特別区域として外国人研究者の受入れに関する規制の緩和に併せて、「琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進事業」等の関連事業を推進し、大学発シーズを活用する企業の育成、大学発シーズの事業化による新事業展開及び新産業創出の促進を目標とする。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

本計画及び本計画と同時並行して実施する「琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進事業」により、当該区域の大学における研究開発を促進するとともに、その成果の県内企業等による起業化を支援する。

これによって、新産業が連鎖的に創出される環境を整備する。

【具体的目標数値】

指 標		実 績 (平成14年度)	目 標 (平成16年度)
全 県	創造的事業活動件数(累計)	189	230

指 標		実 績 (平成14年度)	目 標 (平成19年度)
対象地域内	大学発ベンチャー数(累計)	20	50

特区内大学による大学発ベンチャー

実績は経済産業省「大学発ベンチャーに関する基礎調査」実施報告書(平成15年3月)

なお、特区内の各大学においては、国際交流促進の観点から、構造改革特別区の特例措置を活用し、一層の外国人研究者の受け入れ促進を行っていく予定である。

8 特定事業の名称

外国人研究者受入れ促進事業(501、502、503)

特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業(504)

- 9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項
- 当該区域において実施する特定事業は、大学における研究開発を推進して大学発シーズを輩出し、それに基づいた新産業の創出や既存企業の新事業展開の加速化を目指すものであり、琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進協議会における検討等も踏まえ、協議会構成員においては、本計画に関連して次の事業の実施に向けて検討を行っているところである。

(1) 琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進事業

当該区域では大学発新産業創出をテーマに、平成14年8月に産学官で構成する研究会を組織し、平成15年5月には研究会を発展させて「琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進協議会」を発足させて、検討を進めているところである。

この協議会構成員が取り組む琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進事業は、当該区域の3大学(滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学)で推進されている「環境関連分野」「健康・福祉・医療・バイオ分野」「IT分野」「ナノテク分野」の4分野における研究開発を加速化するとともに、その成果を事業化することによって新産業創出

や企業の第二創業を促進するものである。

このため、大学発シーズの創出とその事業化を目的に、琵琶湖南部エリア大学発新産業創出事業では、産学連携による研究開発の促進、中小企業等の事業活動に対する支援を検討している。

研究開発・産学連携支援

中小企業等の研究開発に対する支援として、以下のような取組を進める。

1) 研究開発助成制度の活用

中小企業等による研究開発に対する支援として、戦略的に目指す分野である「環境関連分野」「健康・福祉・医療・バイオ分野」「IT分野」「ナノテク分野」の4分野について、助成制度の積極的な活用を図る。

2) 産学連携に対する支援の充実

滋賀県では、財団法人滋賀県産業支援プラザ等によって、産学連携に対する支援が行われており、滋賀県、大津市では平成15年度からコーディネータを配置して企業をサポートしているところであるが、さらに、企業と大学を結び付ける仕組み・制度の充実を図るためシーズ・ニーズのマッチングを主目的としたフォーラムの開催等の支援措置を講じることを予定している。

3) 健康福祉ビジネスクリエーションフォーラムの開催

協議会では高齢者、障害者等生活者のための新しい産業の創出・振興を目指し、民・福・医・産学官連携のもと、健康福祉関連産業の振興を目的としたフォーラムの開催を予定している。

中小企業の事業活動に対する支援の充実

1) 市場開拓等に対する支援

中小企業が新製品を事業化する際に、新たに販路を開拓することが必要となる場合があるが、中小企業等が単独で開拓することは困難なことが多いことから、協議会では営業・販売活動に対する支援の強化を図るため、産業展の開催を予定している。

2) 資金支援制度の活用

琵琶湖南部エリア大学発新産業創出推進協議会が平成15年6月に実施した企業ヒアリング調査等によると、ベンチャー企業等では、資金調達に苦労し、資金調達に対する支援の強化を望む企業が多いことから、融資制度等の支援策の積極的な活

用を図る。

3) 人材育成方策の検討

中小企業等では、技術系人材の確保や育成が困難な場合が多く、理工系人材の斡旋、理工系大卒者の県内定着の促進、社内人材の育成支援等が求められていることから、人材育成方策について検討を進める。

立地の促進

特区から生まれた新産業を地域に根付かせると共に、広域からの吸引力を高めるため、大津市の「びわこサイエンスパーク（整備中）」や草津市の工業地域内遊休土地の活用など、立地の促進について検討を進める。

インキュベーション施設入居企業への支援

政府では、大学等における研究成果を活用し、我が国の産業競争力の強化を図るための戦略として「大学発ベンチャー1000社計画」に取り組んでおり、その具体的施策の一つとして、地域振興整備公団において「大学連携型インキュベーション整備事業」を実施している。

同事業により、当該区域内の立命館大学びわこ・くさつキャンパス内に平成16年度開設に向けてインキュベーション施設を建設中であり、新産業創出を促進するため、滋賀県・草津市では同施設への入居者を対象に、施設利用料の一部を補助する措置を講じる予定である。

また、当該区域内のインキュベーション施設入居企業に対しても、その活動に対する支援を検討している。

(2) 重点4分野における独自性を生かした技術シーズ創出への取り組み

当該区域の滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学では、リエゾン部門やキャンパス内でのインキュベーション施設を核として、既に先駆的に大学発技術シーズ創出に取り組んで来ており、特に「環境関連分野」「健康・福祉・医療・バイオ分野」「IT分野」「ナノテク分野」の4分野について高いポテンシャルを有しており、今後も研究開発に重点的に取り組む予定である。

環境関連分野

龍谷大学、立命館大学では次の研究を推進しており、これらの成果をシーズとして、環境保全技術、リサイクル技術等の企業化が期待できる。

龍谷大学

- ・ H R C (ハイテクリサーチセンター)第 2 期において、「グリーンプロセス及びグリーンマテリアルの研究開発」プロジェクトを推進
- ・ 環境ソリューション工学科を開設(環境分野全般にわたる問題解決型の研究)
- ・ 人間・科学・宗教オープンリサーチセンターにおける「仏教と環境研究」

立命館大学

- ・ エコ・テクノロジー研究センターのダイオキシン研究、廃プラスチックリサイクル研究
- ・ 環境総合研究センターの環境保全関連研究(生物工学・環境システム工学)

健康・福祉・医療・バイオ分野

滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学では次の研究を推進しており、これらの成果をシーズとして、遺伝子治療、再生医療、生活習慣病の予防及び治療などの医療技術の開発や、生命科学研究に基づく新たな治療薬の開発、介護ロボットの企業化、社会福祉方法論研究に基づく福祉事業など、新たな事業の展開が期待できる。

滋賀医科大学

- ・ 動物生命科学研究センターの遺伝子改変ザル作製と治療研究、サル E S 細胞の分化・誘導研究
- ・ M R 医学総合研究センターの M R 画像を利用した低侵襲外科治療手技の確立、再生医療に活用できる無侵襲細胞追跡法、分子画像法の開発
- ・ 生活習慣病予防センターの糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満、ガン等の疫学研究

龍谷大学

- ・ 社会学部福祉系 2 学科(地域福祉学科、臨床福祉学科)における研究
- ・ 福祉フォーラムによる健康福祉分野における産官学連携の推進と研究蓄積
- ・ 理工学部機械システム工学科における機械、ロボット研究
- ・ 人間・科学・宗教オープンリサーチセンターにおける「仏教と生命倫理研究」、「仏教社会福祉研究」

立命館大学

- ・ スポーツ・健康産業研究センターによる人間工学、福祉支援技術、スポーツ・メカニクス
- ・ 21世紀 C O E プログラム「放射光生命科学研究」
- ・ 情報理工学部生命情報学科・知能情報学科の新設により、研究体制を拡充・強化

なお、3大学連携による健康・福祉・医療・バイオ分野の共同研究プロジェクトについて、下記の国庫助成事業への申請を予定している。

平成16年度「都市エリア産学官連携促進事業」(文部科学省)

IT分野

龍谷大学、立命館大学では次の研究を推進しており、これらの成果をシーズとして、情報処理技術、画像処理技術などの新しい情報技術によるITビジネスや、LSIの事業化が期待できる。

龍谷大学

- ・HRC第1期において「複合情報メディア環境下での仮想実空間の研究」プロジェクトを完了
- ・HRC第2期において「言語的情報および非言語的情報を統合したマルチモーダルコミュニケーションに基づくエージェントシステム研究開発」プロジェクトを進行中
- ・理工学部の情報系3学科(電子情報学科、数理情報学科、情報メディア学科)による先端研究
- ・古典籍デジタルアーカイブ研究センターによる文物・遺跡の復元技術開発

立命館大学

- ・VLSIセンターによるLSI設計技術
- ・21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」
- ・情報理工学部(情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科、知能情報学科、生命情報学科)の新設および理工学部の電子情報デザイン学科の新設により研究体制を拡充・強化

ナノテク分野

龍谷大学、立命館大学では次の研究を推進しており、これらの成果をシーズとしてナノマテリアル技術による新材料の開発、マイクロマシンの開発及びそれらの事業化が期待できるほか、その応用による医療機器、人工臓器、環境処理機器などの事業化も期待できる。

龍谷大学

- ・HRC第1期において「超高温瞬間発熱反応法による新無機材料の研究開発」プロジェクトを完了。

- ・ HRC第2期においてグリーンマテリアル(環境に優しい新素材)の研究プロジェクトを進行中

立命館大学

- ・ マイクロシステム技術研究センターのMEMS研究
- ・ SRセンターの表面解析・構造解析・超微細加工技術
- ・ 21世紀COEプログラム「マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム」
- ・ 理工学部にマイクロ機械システム工学科を新設して研究体制を拡充・強化

(3) 健康・福祉分野における複合体構想

上記のように取り組まれている4分野のうち健康・福祉・医療・バイオ分野については、3大学の特色を有機的に結合させ、新たな技術シーズを生み出すことが期待できる分野である。また、滋賀医科大学と龍谷大学による福祉 医療連携や、滋賀医科大学と立命館大学による医療 工学連携は既に着手されている。このため、こうした3大学の連携を更に強化・発展させた「健康・福祉分野における複合体」の構築が構想されている。

複合体では、例えば滋賀医科大学の低侵襲医療、龍谷大学の先端福祉と機械システム・IT、立命館大学のロボティクス・ITをコアに集結し、連合研究センターを構築することも考えられている。これにダイケアセンター、養護施設、REC、BKCインキュベータ等を連携することで、健康・福祉分野における産業クラスターの中核拠点を構築できる可能性がある。

なお、3大学連携による健康・福祉分野の共同研究プロジェクトについて、下記の国庫助成事業への申請を予定している。

平成16年度「健康サービス産業モデル都市事業」(経済産業省)

(4) 滋賀県経済振興特別区域制度

滋賀県では、地域経済の活性化と県経済の振興を図るために、市町村が主体となり、地域の持つ産業資源及び地域固有の条件を最大限に生かし、民間事業者等と連携し、知恵と工夫による自発的・主体的な産業振興施策をもとに、滋賀県独自の幅広い経済振興施策を導入する「滋賀県経済振興特別区域制度」の創設を推進しており、平成16年度からの施行を目指している。

「滋賀県経済振興特別区域制度」では滋賀県所管の規制緩和のほか、税制措置、財政措置、金融支援、産業基盤整備等の幅広い特例措置を一体的に講じるものであり、大津市、草津市では、同制度の活用に向けて検討を進めているところである。

別 紙 1

1 特定事業の名称

501、502、503 外国人研究者受入れ促進事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

滋賀医科大学

学校法人龍谷大学

学校法人立命館（立命館大学）

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

計画認定日から

4 特定事業の内容

特定した機関及び施設に関する情報

機関名：滋賀医科大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学系研究科 ・医学部	大津市瀬田 月輪町	【医療】	世界初のサルの疾患モデル作製、リアルタイム三次元MRIを用いた基礎的、臨床的研究、国際的な多施設疫学共同研究による生活習慣病へのアプローチ等をはじめとする先進的医療の確立を目指した取り組みを行っている。
付属病院	同上	【医療】	最先端の高度な医療を行う特定機能病院の指定を受けており、地域への質の高い医療を提供するとともに、新しい医療技術の研究に取り組んでいる。
分子神経科学研究センター	同上	【医療】	先進の分子神経科学的研究手段により脳機能とその老化機能を明らかにし、神経疾患病態の解明を目指している。
動物生命科学 研究センター	同上	【医療】	ニホンザルとカニクイザルの胚性幹細胞（ES細胞）の樹立に世界で初めて成功し、サルES細胞の樹立と再生・遺伝子医療への応用を目指している。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
解剖センター	同上	【医療】	解剖に関する設備、機器を整備し、死体の収集、検索・検案、処理及び管理並びに標本及び解剖記録の作成、保管及び利用等の解剖業務に関する研究の発展に資することを目的としている。
マルチメディアセンター	大津市瀬田 月輪町	【IT】	教育・研究用のコンピューターシステムや情報ネットワークの構築・管理運営にあたり、学内外の情報を広く教育・研究に有効に活用することにより医学及び看護学の発展に資することを目的としている。
MR医学総合研究センター	同上	【医療】	MR（核磁気共鳴装置）を外科治療に用いている国内唯一の機関であり、画像処理、マイクロ波治療、温度画像、3次元画像等の世界最先端の技術を利用し、無侵襲性を生かした患者に優しい医療の開発を目指している。更に再生医療や細胞治療で用いられるES細胞をMR画像で追跡する新しい分子・細胞画像法も手がけている。
生活習慣病予防センター	同上	【健康・医療】	生活習慣に密着した疾患の予防、管理、指導について研究を行っている。
医療福祉教育研究センター	同上	【福祉・医療】	龍谷大学及び滋賀県との間で地域の保健、医療、看護及び福祉の各分野の連携を図り、保健・医療・看護・福祉活動を行っている者（医療福祉活動等従事者）に対する総合的かつ学際的な生涯教育の支援と地域貢献諸活動の推進を図るとともに、医療福祉活動等従事者の養成に係る教育方法等についての研究を行っている。

機関名：学校法人龍谷大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科 ・理工学部	大津市瀬田大 江町横谷1-5	【環境】【福祉】 【IT】【ナノテ ク】	<p>【環境】</p> <p>びわ湖流入する廃水処理など都市環境工学（エコロジー）と生態学（生態環境マネジメント）の両面から、研究開発に取り組んでいる。</p> <p>【福祉】</p> <p>車椅子のパワーアシストシステムの開発など福祉関連の研究開発を行っている。</p> <p>【IT】</p> <p>翻訳カメラの研究開発をなど、情報工学や電子工学分野の基礎から実践的応用までの研究を行っている。</p> <p>【ナノテク】</p> <p>ナノテクノロジーを活用した表面処理技術の研究開発など金属やセラミックス材料の設計や新規高機能性無機材料の合成・応用の研究などを行っている。</p>
社会学研究科 ・社会学部	同上	【福祉】【IT】	<p>【福祉】</p> <p>車椅子使用者が着用するスーツの研究など、社会福祉に関する研究開発を行っている。</p> <p>【IT】</p> <p>福祉援助システムの構築をめざし、生活資源の利用・配分のメカニズムを分析するとともに、社会福祉情報の処理と発信について研究を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
国際文化学研究科・国際文化学部	同上	【IT】	【IT】 異文化と自国文化との比較を行う観点から、情報収集、データ分析を行っているほか、古典籍デジタルアーカイブ方式の研究、コンテンツ情報の解析研究などを行っている。
科学技術共同研究センター	大津市瀬田大江町横谷1-5	【環境】【福祉】【IT】【ナノテク】	【環境】【福祉】【IT】【ナノテク】 理工学研究科・理工学部と連動した研究センターとして基礎数理を始め、情報、エレクトロニクス、機械システム（福祉関連機器）、メカトロニクス、新素材、メディア、環境に至る先端分野の共同研究プロジェクトを推進している。
ハイテクリサーチセンター	同上	【環境】【IT】【ナノテク】	【環境】【ナノテク】 ナノテクノロジーを活用し、環境にやさしい物質・材料の合成プロセスを進める「グリーンプロセス及びグリーンマテリアルの研究開発」などを推進している。 【IT】 高度知能情報処理システムを構築する「言語的情報および非言語的情報を統合した、マルチモーダルコミュニケーションにもとづくエージェントシステムの研究開発」などを推進している。
古典籍デジタルアーカイブ研究センター	同上	【IT】	【IT】 デジタルアーカイブ方式の研究、コンテンツ情報の解析研究、科学分析・保存修復にかかる基礎的研究により構成。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
国際社会文化 研究所	同上	【福祉】【IT】	<p>【福祉】【IT】</p> <p>社会学研究科・社会学部に連動した研究所として、車椅子使用者用が着用するスーツの研究や、社会福祉情報の処理と発信などについて研究を行っている。</p>

機関名：学校法人立命館（立命館大学）

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科 ・理工学部	草津市野路東 1-1-1	【環境】【福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】 環境問題を解析し、環境の改善・管理を行うための研究等を行っている。</p> <p>【福祉・医療・バイオ】 福祉・医療ロボットの研究開発や生物（細胞）が持つ優れた機能を化学的に明らかにし、その結果を合理的に利用する生物工学等に取り組んでいる。</p> <p>【ナノテク】 ナノレベルのマイクロマシンシステムやマイクロエレクトロニクス（集積回路）の研究開発等を行っている。</p> <p>【IT】 人間と機械を情報処理技術をベースに科学し、両者をハード的・ソフト的に結びつけるための電子技術や計算機科学の分野を含めた情報システム学の研究等を行っている。</p>
情報理工学部 （平成16年 4月開設）	同上	【バイオ】【IT】	<p>【バイオ】【IT】 生命科学（バイオテクノロジー）と情報科学（コンピュータサイエンス）を融合した生命情報科学（バイオインフォマティクス）の研究に取り組む。</p>
経済学研究科 ・経済学部	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 ベンチャー企業創出のためのファイナンスやマーケティングの研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出支援に関する研究を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
経営学研究科 ・経営学部	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のための研究や産学官連携を基礎にした起業のための研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
大学院 【技術経営(MOT)大学院 (仮称)】(平成17年4月 開講予定)	草津市野路東 1-1-1	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 技術競争力の維持向上、イノベーションの源泉となる技術経営(MOT)に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行う予定。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
COE推進機構	同上	【環境】【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】 歴史都市を自然災害から守り、環境保全を行うための学理と技術の確立を目指した研究などを行っている。</p> <p>【医療・バイオ】 世界最小のシンクロトロンや超伝導シンクロトロンを使い、医療や生命科学分野に関する研究などを行っている。</p> <p>【IT】 京都の文化や芸能などを、最先端のデジタル技術を利用して保存し、その情報をWEBで世界に向けて発信する京都アート・エンタテインメント創成研究などを行っている。</p> <p>【ナノテク】 ICやLSIのチップ上に微細加工を行うマイクロ・ナノサイエンス・集積化システムの研究などを行っている。</p>
理工学研究所	同上	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】 環境に配慮した省電力デバイス要素技術の基礎研究や琵琶湖の水質浄化に関する研究、タンパク質の構造解析の研究や高齢者の行動特性の研究、プログラミング言語の研究やインターネットメディアの研究、ナノ構造体や低次元表面物性の研究など公募型のプロジェクト研究・共同研究グループによる共同研究会、大型実験装置導入による研究等を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
ロボティクス・F A 研究センター	草津市野路東 1-1-1	【福祉】【IT】	【福祉】【IT】 主に、ロボットやメカトロニクス機器、生産システム自動化、人間 - 機械系の3つの研究分野において、インテリジェント関節装具の開発など、産業界等から要請のあった課題を中心に研究活動を行っている。
材料・生産技術研究センター	同上	【環境】【ナノテク】	【環境】【ナノテク】 環境に配慮したコンクリート材料の研究やナノテクノロジーを活用した金属製マイクロカプセルの研究など材料の開発・改質、機能・特性の評価、生産加工に関わる幅広い技術分野で、産官学共同の研究活動を展開している。
総合理工学研究機構	同上	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】 省電力・高周波デバイスの開発、ナノテクノロジー総合支援プロジェクト事業、ナノバイオ融合デバイスの開発を始めとして、「理工学研究所」における琵琶湖の水質浄化に関する研究、「VLSIセンター」における超大規模集積回路の研究など、「研究センター群」、「SRセンター」の各研究所に関連する領域について研究を行っている。
ソフトウェア研究センター	同上	【IT】	ソフトウェア開発技術、ネットワーク構築技術、およびマルチメディアシステムの各分野における産学共同研究を推進している。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
環境総合研究センター	同上	【環境】【バイオ】【IT】	【環境】【バイオ】【IT】 アグリバイオに関する研究など環境保全に関連する技術の開発を、生物工学のおよび情報システムを活用した環境システム工学的の2つの視点からアプローチする研究活動を行っている。
建設マネジメント研究センター	草津市野路東 1-1-1	【環境】【IT】	【環境】【IT】 社会基盤整備や都市・地域開発事業における作業・業務プロセスの明確化、各プロセスの支援情報システム・CADシステム・自然環境シミュレーションシステム・各種構造物の強度解析シミュレーションシステム等々の開発研究、都市・地域開発プロジェクト企画・計画の方法論の開発研究などを行っている。
エコ・テクノロジー研究センター	同上	【環境】	ダイオキシンなどの難分解性有機ハロゲンの排出抑制研究と廃プラスチックの再利用研究の2つに大別される研究を行っている。
電子技術研究センター	同上	【IT】【ナノテク】	【IT】【ナノテク】 光ファイバー通信の研究、ナノテクノロジーを活用した高周波デバイスの研究など、各要した電気・電子・光の分野において、社会的要請の高い先端科学技術に関する自主的研究や産・官・学の共同研究を行っている。
マイクロシステム技術研究センター	同上	【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 ICチップの研究、ナノバイオ融合デバイスの研究、医療用機器の研究などマイクロシステム技術を次世代の産業技術に応用するための研究をおこなっている。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
スポーツ・健康産業研究センター	同上	【健康・福祉】【IT】	【健康・福祉】【IT】 色盲、色弱者用ソフトの開発などの他、高齢者・身障者の自立・社会参加を支援するための機器や介護支援機器の開発、人の状態をセンシングし、ユーザに最適な環境、操作性を提供するインテリジェント家電の開発などを行っている。
SR（シンクロトロン放射光）センター	草津市野路東 1-1-1	【バイオ】【ナノテク】	【バイオ】【ナノテク】 タンパク質の解析など超伝導シンクロトロン放射光源発生装置を用いた最先端の「光」の実験を展開している。2002年度には文部科学省のナノテクノロジー総合支援プロジェクトの実施機関に選定されている。
VLSIセンター	同上	【IT】【ナノテク】	【IT】【ナノテク】 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業「インテリジェント・シリコンサイエティの研究」など最先端のVLSI（超大規模集積回路）設計に関する研究を行っている。
社会システム研究所	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 技術経営に関する研究、事例分析によるベンチャー企業創出のための研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
経営戦略研究センター	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のための経営戦略に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
ファイナンス研究センター	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のためのファイナンスや財務に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
BKC社系研究機構	草津市野路東 1-1-1	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 次世代型ファイナンス・アナリシスの開発、企業の知的財産権に関する研究、国際ビジネス法制に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。

上記に記載した施設は全て当該研究分野の中核施設である。

5 当該規制の特例措置の内容

特区法第21条第1項第1号に該当すると判断した根拠

当該区域では「びわこ文化公園都市」の整備が進められ、滋賀医科大学、龍谷大学（瀬田学舎）、立命館大学（BKC、びわこ・くさつキャンパス）、京都大学生態学研究センター等の大学・研究所が立地しているほか、龍谷大学、立命館大学内にはレンタルラボが整備されているほか、県立テクノファクトリーも隣接しており、新産業出のためのインフラが整っている。

また、当該区域から1時間以内の区域（以下「周辺区域」と云う）は、大都市の京都、大阪に近接しているほか、本州のほぼ中央に位置しているという立地条件に恵まれていることから、交通の発達も相まって早くから工業立地が進展し、高度経済成長期には大企業の工場や研究所の進出が相次ぎ、地元企業はその関連企業として発展するなど、滋賀県の基盤的技術産業の約50%が集積し、工場・研究所群を有する関西有数の内陸工業地帯として発展してきた地域である。

特区法第21条第1項第2号に該当すると判断した根拠

当該区域において最先端の研究開発を一層促進し、その成果の起業化を促進していくには、大学における研究機能の拡大・強化、行政による産業支援等の施策の充実を図っていくほか、併せて、起業化に結びつく研究開発の成果を生み出すための人材の集積を一層促進していくことが極めて重要である。

このためには、大学における研究人材を全国から招聘することはもとより、海外の大学、研究機関等から優れた外国人研究者を招聘して、当該区域における研究活動や内外の研究者による研究交流を促進していくことが必要であり、「構造改革特別区域」として、海外の優秀な研究人材の確保につながる規制の特例措置を実施することが不可欠である。

別紙 2

1 特定事業の名称

504 特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

滋賀医科大学

学校法人龍谷大学

学校法人立命館（立命館大学）

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

計画認定日から

4 特定事業の内容

特定した機関及び施設に関する情報

機関名：滋賀医科大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
医学系研究科 ・医学部	大津市瀬田 月輪町	【医療】	世界初のサルの疾患モデル作製、リアルタイム三次元MRIを用いた基礎的、臨床的研究、国際的な多施設疫学共同研究による生活習慣病へのアプローチ等をはじめとする先進的医療の確立を目指した取り組みを行っている。
付属病院	同上	【医療】	最先端の高度な医療を行う特定機能病院の指定を受けており、地域への質の高い医療を提供するとともに、新しい医療技術の研究に取り組んでいる。
分子神経科学研究センター	同上	【医療】	先進の分子神経科学的研究手段により脳機能とその老化機能を明らかにし、神経疾患病態の解明を目指している。
動物生命科学 研究センター	同上	【医療】	ニホンザルとカニクイザルの胚性幹細胞（ES細胞）の樹立に世界で初めて成功し、サルES細胞の樹立と再生・遺伝子医療への応用を目指している。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
解剖センター	同上	【医療】	解剖に関する設備、機器を整備し、死体の収集、検索・検案、処理及び管理並びに標本及び解剖記録の作成、保管及び利用等の解剖業務に関する研究の発展に資することを目的としている。
マルチメディアセンター	大津市瀬田 月輪町	【IT】	教育・研究用のコンピューターシステムや情報ネットワークの構築・管理運営にあたり、学内外の情報を広く教育・研究に有効に活用することにより医学及び看護学の発展に資することを目的としている。
MR医学総合研究センター	同上	【医療】	MR（核磁気共鳴装置）を外科治療に用いている国内唯一の機関であり、画像処理、マイクロ波治療、温度画像、3次元画像等の世界最先端の技術を利用し、無侵襲性を生かした患者に優しい医療の開発を目指している。更に再生医療や細胞治療で用いられるES細胞をMR画像で追跡する新しい分子・細胞画像法も手がけている。
生活習慣病予防センター	同上	【健康・医療】	生活習慣に密着した疾患の予防、管理、指導について研究を行っている。
医療福祉教育研究センター	同上	【福祉・医療】	龍谷大学及び滋賀県との間で地域の保健、医療、看護及び福祉の各分野の連携を図り、保健・医療・看護・福祉活動を行っている者（医療福祉活動等従事者）に対する総合的かつ学際的な生涯教育の支援と地域貢献諸活動の推進を図るとともに、医療福祉活動等従事者の養成に係る教育方法等についての研究を行っている。

機関名：学校法人龍谷大学

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科 ・理工学部	大津市瀬田大 江町横谷1-5	【環境】【福祉】 【IT】【ナノテ ク】	<p>【環境】 びわ湖流入する廃水処理など都市環境工学（エコロジー）と生態学（生態環境マネジメント）の両面から、研究開発に取り組んでいる。</p> <p>【福祉】 車椅子のパワーアシストシステムの開発など福祉関連の研究開発を行っている。</p> <p>【IT】 翻訳カメラの研究開発をなど、情報工学や電子工学分野の基礎から実践的応用までの研究を行っている。</p> <p>【ナノテク】 ナノテクノロジーを活用した表面処理技術の研究開発など金属やセラミックス材料の設計や新規高機能性無機材料の合成・応用の研究などを行っている。</p>
社会学研究科 ・社会学部	同上	【福祉】【IT】	<p>【福祉】 車椅子使用者が着用するスーツの研究など、社会福祉に関する研究開発を行っている。</p> <p>【IT】 福祉援助システムの構築をめざし、生活資源の利用・配分のメカニズムを分析するとともに、社会福祉情報の処理と発信について研究を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
国際文化学研究科・国際文化学部	同上	【IT】	【IT】 異文化と自国文化との比較を行う観点から、情報収集、データ分析を行っているほか、古典籍デジタルアーカイブ方式の研究、コンテンツ情報の解析研究などを行っている。
科学技術共同研究センター	大津市瀬田大江町横谷1-5	【環境】【福祉】【IT】【ナノテク】	【環境】【福祉】【IT】【ナノテク】 理工学研究科・理工学部と連動した研究センターとして基礎数理を始め、情報、エレクトロニクス、機械システム（福祉関連機器）、メカトロニクス、新素材、メディア、環境に至る先端分野の共同研究プロジェクトを推進している。
ハイテクリサーチセンター	同上	【環境】【IT】【ナノテク】	【環境】【ナノテク】 ナノテクノロジーを活用し、環境にやさしい物質・材料の合成プロセスを進める「グリーンプロセス及びグリーンマテリアルの研究開発」などを推進している。 【IT】 高度知能情報処理システムを構築する「言語的情報および非言語的情報を統合した、マルチモーダルコミュニケーションにもとづくエージェントシステムの研究開発」などを推進している。
古典籍デジタルアーカイブ研究センター	同上	【IT】	【IT】 デジタルアーカイブ方式の研究、コンテンツ情報の解析研究、科学分析・保存修復にかかる基礎的研究により構成。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
国際社会文化 研究所	同上	【福祉】【IT】	<p>【福祉】【IT】</p> <p>社会学研究科・社会学部に連動した研究所として、車椅子使用者用が着用するスーツの研究や、社会福祉情報の処理と発信などについて研究を行っている。</p>

機関名：学校法人立命館（立命館大学）

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
理工学研究科 ・理工学部	草津市野路東 1-1-1	【環境】【福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】 環境問題を解析し、環境の改善・管理を行うための研究等を行っている。</p> <p>【福祉・医療・バイオ】 福祉・医療ロボットの研究開発や生物（細胞）が持つ優れた機能を化学的に明らかにし、その結果を合理的に利用する生物工学等に取り組んでいる。</p> <p>【ナノテク】 ナノレベルのマイクロマシンシステムやマイクロエレクトロニクス（集積回路）の研究開発等を行っている。</p> <p>【IT】 人間と機械を情報処理技術をベースに科学し、両者をハード的・ソフト的に結びつけるための電子技術や計算機科学の分野を含めた情報システム学の研究等を行っている。</p>
情報理工学部 （平成16年 4月開設）	同上	【バイオ】【IT】	<p>【バイオ】【IT】 生命科学（バイオテクノロジー）と情報科学（コンピュータサイエンス）を融合した生命情報科学（バイオインフォマティクス）の研究に取り組む。</p>
経済学研究科 ・経済学部	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 ベンチャー企業創出のためのファイナンスやマーケティングの研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出支援に関する研究を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
経営学研究科 ・経営学部	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のための研究や産学官連携を基礎にした起業のための研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
大学院 【技術経営(MOT)大学院 (仮称)】(平成17年4月開講予定)	草津市野路東 1-1-1	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 技術競争力の維持向上、イノベーションの源泉となる技術経営(MOT)に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行う予定。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
COE推進機構	同上	【環境】【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】 歴史都市を自然災害から守り、環境保全を行うための学理と技術の確立を目指した研究などを行っている。</p> <p>【医療・バイオ】 世界最小のシンクロトロンや超伝導シンクロトロンを使い、医療や生命科学分野に関する研究などを行っている。</p> <p>【IT】 京都の文化や芸能などを、最先端のデジタル技術を利用して保存し、その情報をWEBで世界に向けて発信する京都アート・エンタテインメント創成研究などを行っている。</p> <p>【ナノテク】 ICやLSIのチップ上に微細加工を行うマイクロ・ナノサイエンス・集積化システムの研究などを行っている。</p>
理工学研究所	同上	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】	<p>【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】 環境に配慮した省電力デバイス要素技術の基礎研究や琵琶湖の水質浄化に関する研究、タンパク質の構造解析の研究や高齢者の行動特性の研究、プログラミング言語の研究やインターネットメディアの研究、ナノ構造体や低次元表面物性の研究など公募型のプロジェクト研究・共同研究グループによる共同研究会、大型実験装置導入による研究等を行っている。</p>

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
ロボティクス・F A 研究センター	草津市野路東 1-1-1	【福祉】【IT】	【福祉】【IT】 主に、ロボットやメカトロニクス機器、生産システム自動化、人間 - 機械系の3つの研究分野において、インテリジェント関節装具の開発など、産業界等から要請のあった課題を中心に研究活動を行っている。
材料・生産技術研究センター	同上	【環境】【ナノテク】	【環境】【ナノテク】 環境に配慮したコンクリート材料の研究やナノテクノロジーを活用した金属製マイクロカプセルの研究など材料の開発・改質、機能・特性の評価、生産加工に関わる幅広い技術分野で、産官学共同の研究活動を展開している。
総合理工学研究機構	同上	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【バイオ】【IT】【ナノテク】 省電力・高周波デバイスの開発、ナノテクノロジー総合支援プロジェクト事業、ナノバイオ融合デバイスの開発を始めとして、「理工学研究所」における琵琶湖の水質浄化に関する研究、「VLSIセンター」における超大規模集積回路の研究など、「研究センター群」、「SRセンター」の各研究所に関連する領域について研究を行っている。
ソフトウェア研究センター	同上	【IT】	ソフトウェア開発技術、ネットワーク構築技術、およびマルチメディアシステムの各分野における産学共同研究を推進している。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
環境総合研究センター	同上	【環境】【バイオ】【IT】	【環境】【バイオ】【IT】 アグリバイオに関する研究など環境保全に関連する技術の開発を、生物工学のおよび情報システムを活用した環境システム工学的の2つの視点からアプローチする研究活動を行っている。
建設マネジメント研究センター	草津市野路東 1-1-1	【環境】【IT】	【環境】【IT】 社会基盤整備や都市・地域開発事業における作業・業務プロセスの明確化、各プロセスの支援情報システム・CADシステム・自然環境シミュレーションシステム・各種構造物の強度解析シミュレーションシステム等々の開発研究、都市・地域開発プロジェクト企画・計画の方法論の開発研究などを行っている。
エコ・テクノロジー研究センター	同上	【環境】	ダイオキシンなどの難分解性有機ハロゲンの排出抑制研究と廃プラスチックの再利用研究の2つに大別される研究を行っている。
電子技術研究センター	同上	【IT】【ナノテク】	【IT】【ナノテク】 光ファイバー通信の研究、ナノテクノロジーを活用した高周波デバイスの研究など、各要した電気・電子・光の分野において、社会的要請の高い先端科学技術に関する自主的研究や産・官・学の共同研究を行っている。
マイクロシステム技術研究センター	同上	【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 ICチップの研究、ナノバイオ融合デバイスの研究、医療用機器の研究などマイクロシステム技術を次世代の産業技術に応用するための研究をおこなっている。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
スポーツ・健康産業研究センター	同上	【健康・福祉】【IT】	【健康・福祉】【IT】 色盲、色弱者用ソフトの開発などの他、高齢者・身障者の自立・社会参加を支援するための機器や介護支援機器の開発、人の状態をセンシングし、ユーザに最適な環境，操作性を提供するインテリジェント家電の開発などを行っている。
SR（シンクロトロン放射光）センター	草津市野路東 1-1-1	【バイオ】【ナノテク】	【バイオ】【ナノテク】 タンパク質の解析など超伝導シンクロトロン放射光源発生装置を用いた最先端の「光」の実験を展開している。2002年度には文部科学省のナノテクノロジー総合支援プロジェクトの実施機関に選定されている。
VLSIセンター	同上	【IT】【ナノテク】	【IT】【ナノテク】 文部科学省ハイテク・リサーチ・センター整備事業「インテリジェント・シリコンサイエティの研究」など最先端のVLSI（超大規模集積回路）設計に関する研究を行っている。
社会システム研究所	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 技術経営に関する研究、事例分析によるベンチャー企業創出のための研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。

施設名	所在地	特定分野	施設の概要
経営戦略研究センター	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のための経営戦略に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
ファイナンス研究センター	同上	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 新技術を活用したベンチャー企業創出のためのファイナンスや財務に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。
BKC社系研究機構	草津市野路東 1-1-1	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】	【環境】【健康・福祉・医療・バイオ】【IT】【ナノテク】 次世代型ファイナンス・アナリシスの開発、企業の知的財産権に関する研究、国際ビジネス法制に関する研究など、環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク分野における新産業創出に関する研究を行っている。

重点分野（環境、健康・福祉・医療・バイオ、IT、ナノテク）における特定研究活動・特定研究事業活動及び同活動を行うために入国する研究者の配偶者又は子としての活動。

5 当該規制の特例措置の内容

本事業と併せて実施する特定事業

外国研究者受け入れ促進事業

特例措置の内容

これらの特例措置を講じることにより、外国人研究者の活動の利便性を向上させ、起

業か精神の旺盛な外国人研究者が先導的な役割を果たすことにより、大学発新産業創出の推進を図る。